

2018年3月期 第3四半期決算について

2018年2月9日



本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

- **連結決算の状況**
- **セグメント別の状況**
- **トピックス**
- **(参考) B2B2Xモデルの主な取組み状況**
- **(参考) R&Dフォーラム2018**
- **(参考) Mobile World Congress 2018
へのグループ出展**
- **Appendix**

- 増収・増益
- 年間計画に向けて順調な進捗

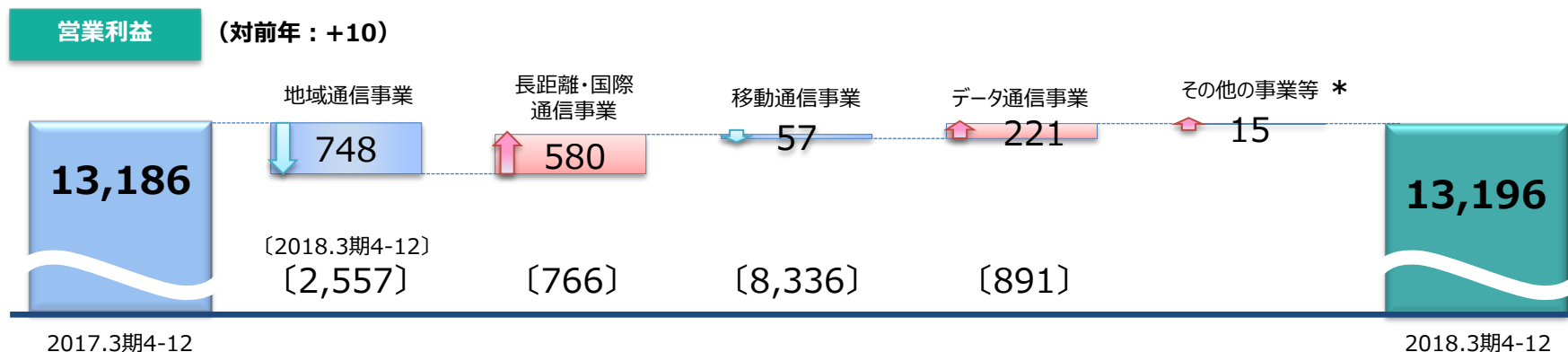
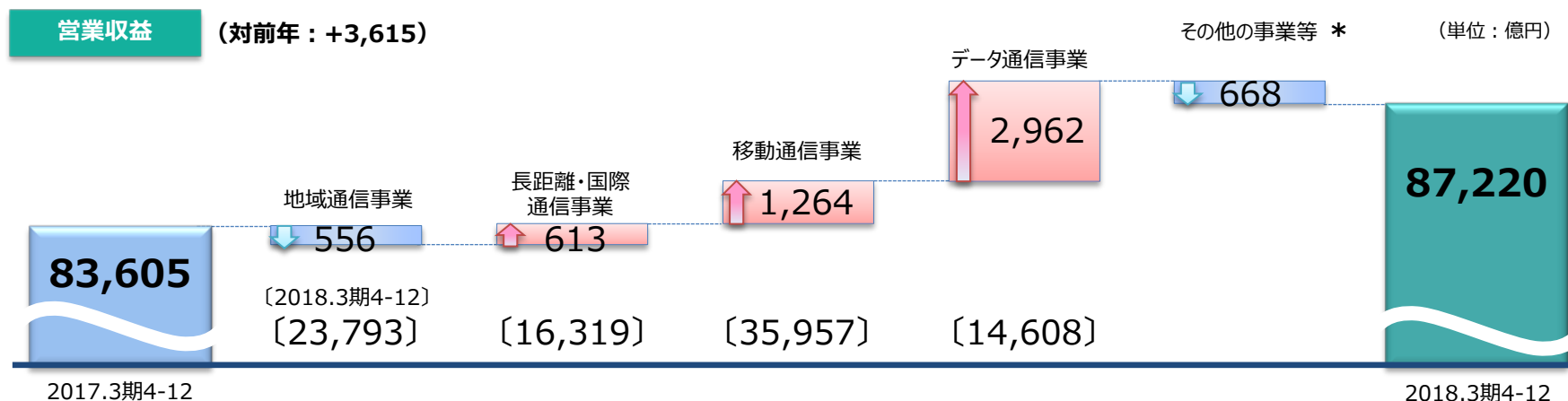
連結決算状況

➤ 営業収益	:	8兆7,220億円	(対前年 + 3,615億円 [+4.3%])
➤ 営業利益	:	1兆3,196億円	(対前年 + 10億円 [+0.1%])
➤ 四半期（当期）純利益*1	:	7,366億円	(対前年 + 679億円 [+10.1%])
➤ 海外売上高	:	144.5億ドル	(対前年 + 22.6億ドル [+18.6%])
・クロスセル受注額	:	6.6億ドル	
➤ 海外営業利益*2	:	7.8億ドル	(対前年 + 2.4億ドル [+43.5%])

*1 四半期（当期）純利益は、当社に帰属する四半期（当期）純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

*2 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益を記載しております。

■ 長距離・国際通信、データ通信セグメントで増収増益



* セグメント間取引消去・その他を含む

ネットワークサービスの収益力強化

➤ ユーザ基盤の拡大

・ モバイル契約数 : 7,568万 (純増 + 80万)

(再) カケホーダイ & パケあえる : 4,060万 (純増 + 353万)

・ FTTH契約数 : 2,046万 (純増 + 40万)

(再) コラボ光 : 1,066万 (純増 + 191万)

➤ Wi-Fiエリアオーナー数の拡大* : 681 (純増 + 124)

* 小規模飲食店等を除く、大手企業ユーザ・自治体の顧客数

B2B2Xモデルの推進

- 新たな価値創造や社会的課題の解決に向け、スポーツ、交通・運輸、製造等の様々な分野において、デジタルトランスフォーメーションをサポートすることで、引き続き他社・自治体等との協業を拡大

グローバル・クラウドサービスの拡大

- 米国ITマネージドサービス事業者Secure-24の買収

株主還元

- 自己株式取得 : 1,500億円の取得を完了（12月8日）
- 2018年3月期自己株式取得累計額 : 1,932億円

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」進捗

- 使用済み携帯電話等累計回収台数（12月末時点） : 約240万台

(参考) B2B2Xモデルの主な取り組み状況 ～2018年3月期第3四半期～

		10月	hitoe®により赤ちゃんの状態を推定し、快適なフライトへ向けた実証開始 （「赤ちゃんが泣かない！？ヒコーキ」プロジェクトを立ち上げ）
		10月	エッジコンピューティング等を取り入れたFIELD systemの商用提供開始
		10月	中心市街地の公道で自動走行を実施、札幌市の一層の発展と飛躍に貢献
		10月	corevo®を活用した農業・水環境分野の省力化に向けた実証開始
		11月	Kirari!を活用し、虚実共演伝送舞踊等新たな歌舞伎演出を提供 （先斗町と宮川町をつないだ「京結夢現連獅子」を開催）
		11月	アスリートのパフォーマンスと脳情報処理の研究に向けた共同実験開始
		11月	AIを活用した人流予測、最適機器制御技術を用いた空調制御の実証開始

■「NTT R&Dフォーラム」(招待制)を本年も実施

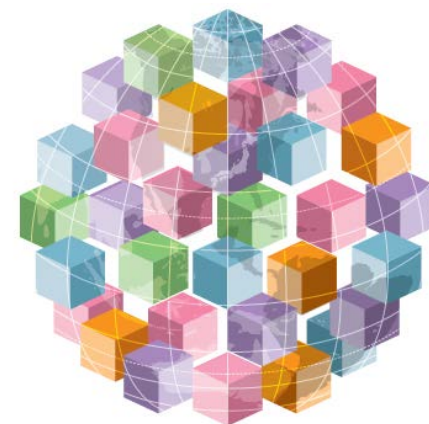
日時： 2018年2月22日(木)・23日(金)
10:00～17:00

場所： NTT武蔵野研究開発センタ

展示内容：

メディア&UI、corevo、IoT、ネットワーク&セキュリティ、
基礎研究のカテゴリで、B2B2Xモデルの取り組みを含め
最新の研究成果を紹介

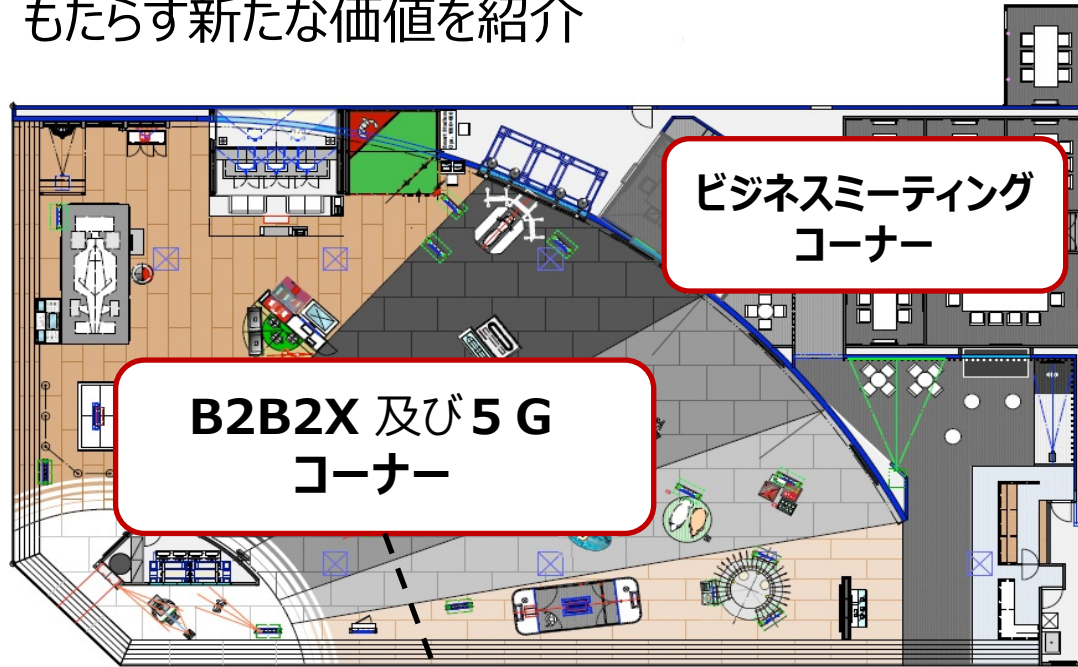
- (例)
- ・ corevo (AI) を活用した新たな価値創造
 - ・ エッジコンピューティングを活用したIoT
 - ・ イマーシブテレプレゼンス技術 Kirari!
(超高臨場感の創出)
 - ・ 産業向け制御システムを含むセキュリティ技術
 - ・ 量子ニューラルネットワーク



**デジタル技術が
彩る未来へ**



- AI、IoT、5Gなどを活用したB2B2Xビジネスモデルの代表的・先端的な事例を展示
- これらの展示を通して、様々なパートナーとのコラボレーションにより各種産業分野にもたらす新たな価値を紹介



MWC 2018 概要

- ・会期：2018/2/26(月)～3/1(木)
＜4日間＞
- ・会場：スペイン・バルセロナ
- ・出展社数*：2,300社

* 前回2017年実績

展示コーナーは以下の5ゾーンで展示

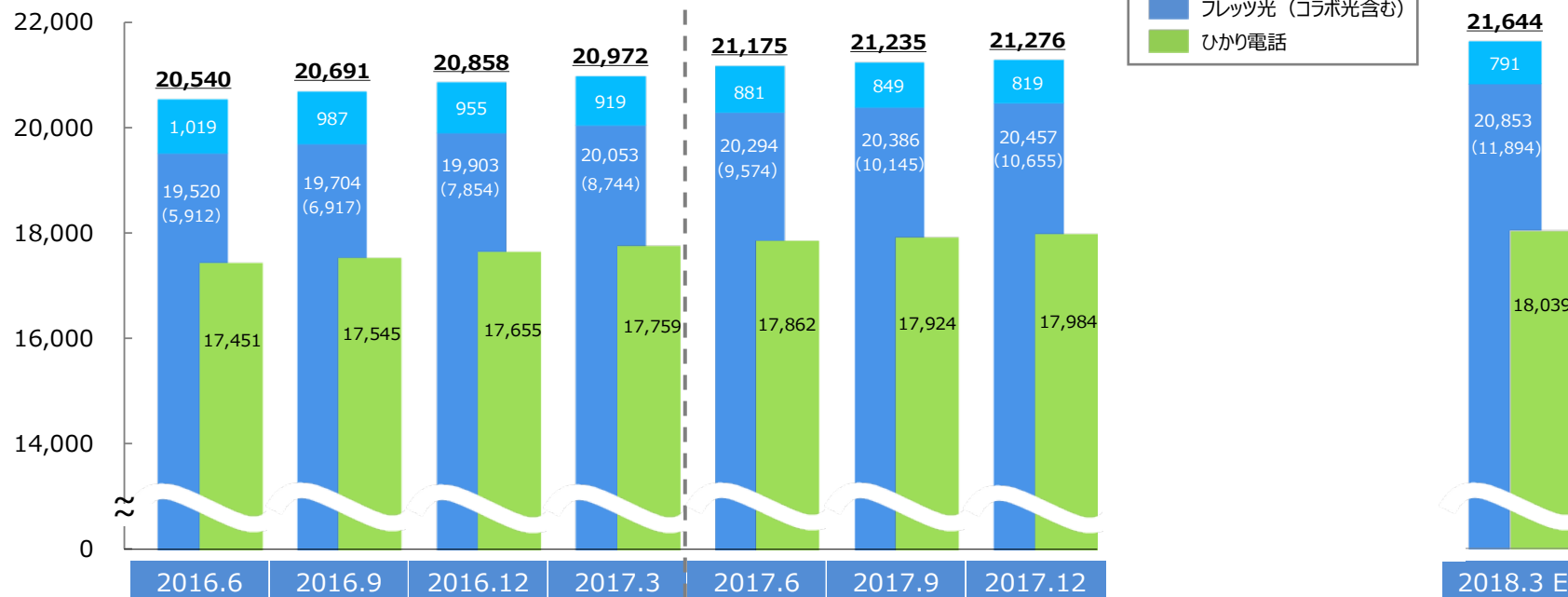
- | | |
|------------------------|----------------------|
| ① Sport & Culture | ④ Agriculture |
| ② Mobility & Logistics | ⑤ Life & Environment |
| ③ Manufacturing | |

Appendix

ブロードバンド・サービスの進展

固定ブロードバンドの契約数

契約数 ※1※2 (単位：千契約)



対前四半期別純増(減)数 (単位：千契約)

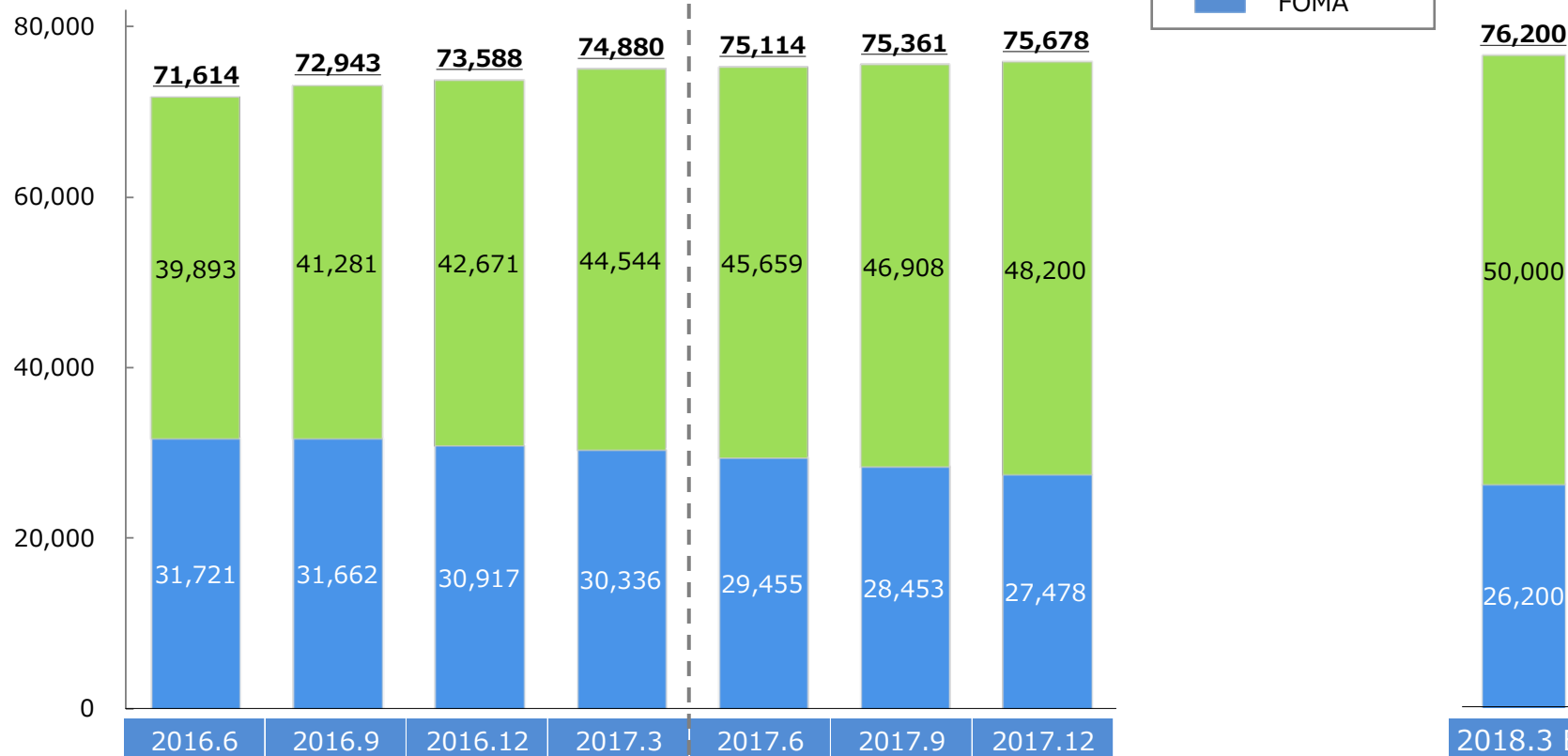
	2017.3期				2018.3期				2017.3期 通期実績	2018.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	3Q累計		
フレッツ光(コラボ光含む) ※1	261	183	199	150	241	92	72	404	794	800
開通数 ※3	786	649	672	750	851	627	625	2,103	2,857	2,900
フレッツADSL	▲ 34	▲ 32	▲ 32	▲ 36	▲ 38	▲ 32	▲ 31	▲ 100	▲ 134	▲ 128
ひかり電話 ※4※5	77	93	111	104	104	62	59	225	385	280

- ※1 フレッツ光(コラボ光含む)は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト、フレッツ光ライトプラス及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ 光ネクスト、フレッツ光マイタウン ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、並びにNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)を含めて記載しております。
- ※2 NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)契約数を()内に記載しております。
- ※3 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。
- ※4 ひかり電話は、NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。
- ※5 ひかり電話は、チャンネル数(単位：千)を記載しております。

移動ブロードバンドの契約数

契約数 ※

(単位：千契約)



対前四半期別純増数

(単位：千契約)

	2017.3期				2018.3期				2017.3期 通期実績	2018.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	3Q累計		
LTE (Xi) +FOMA	650	1,330	645	1,292	234	247	317	799	3,916	1,300

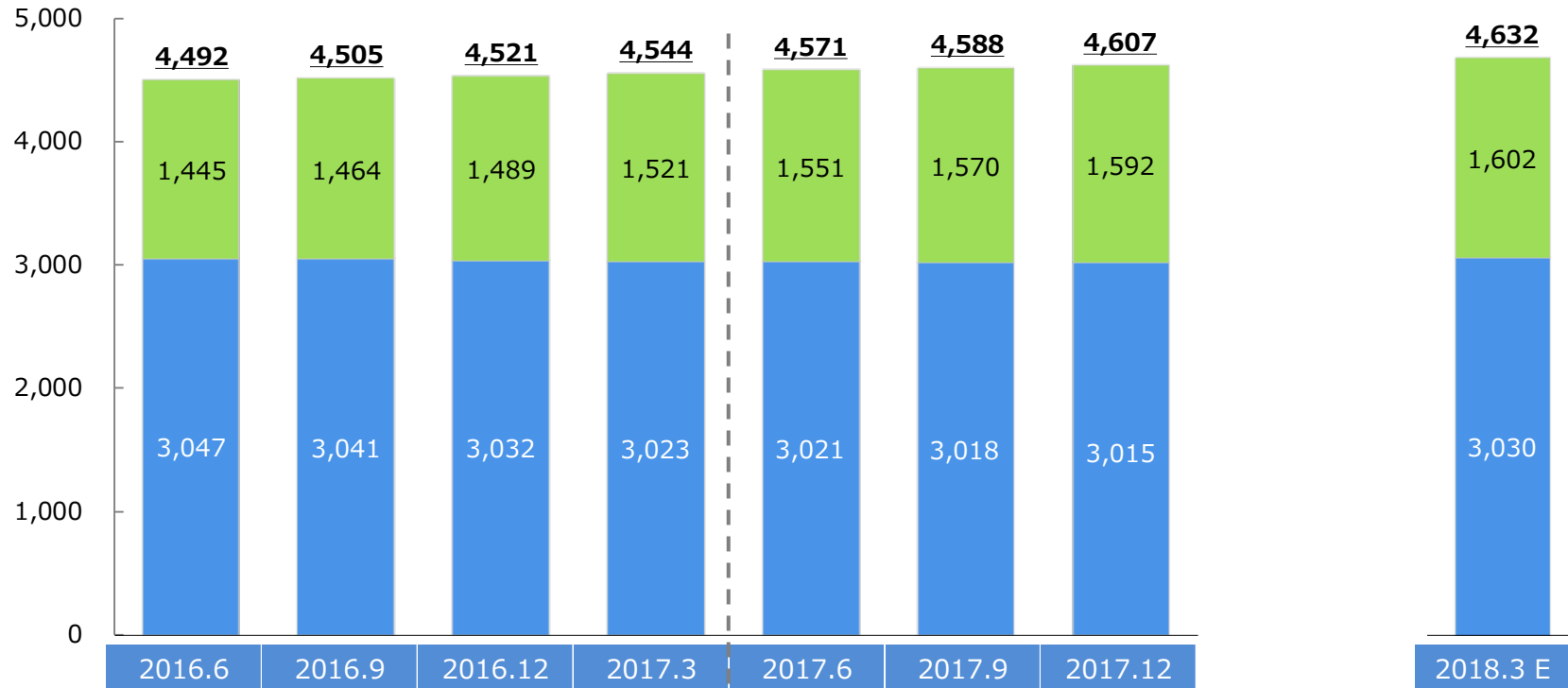
※ 移動ブロードバンド契約数は、通信モジュールサービス契約数を含めて記載しております。

映像サービスの契約数

契約数

(単位：千契約)

■ フレッツ・テレビ伝送サービス ※
■ ひかりTV



※「フレッツ・テレビ伝送サービス」は、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

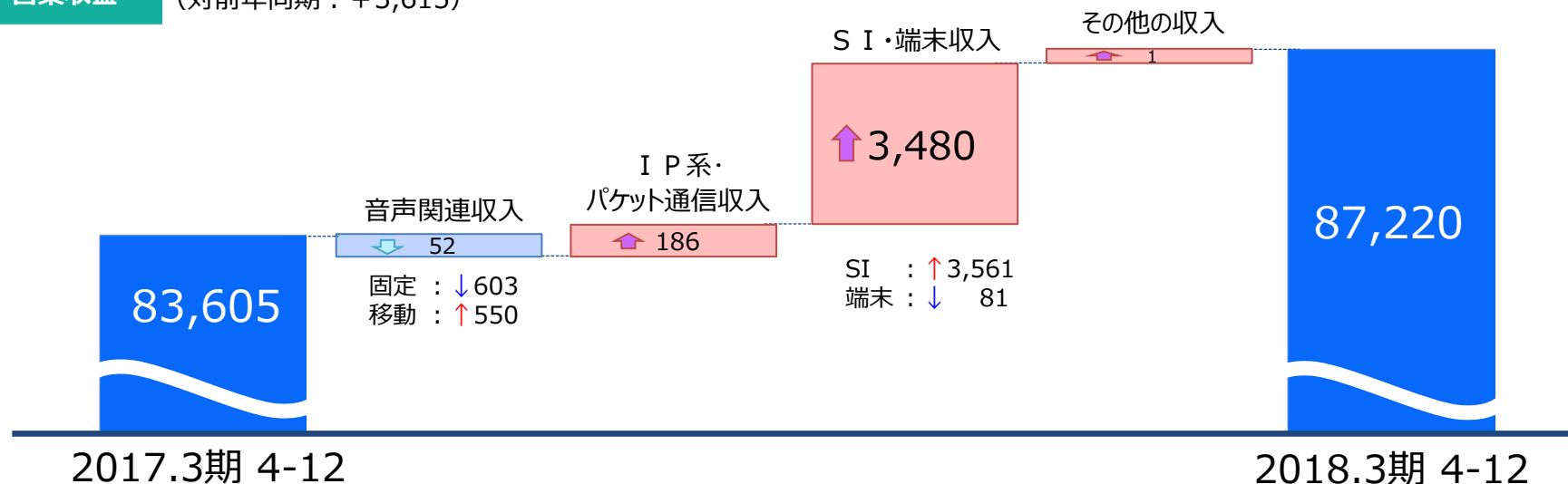
財務状況

連結損益計算書の状況

(単位: 億円)

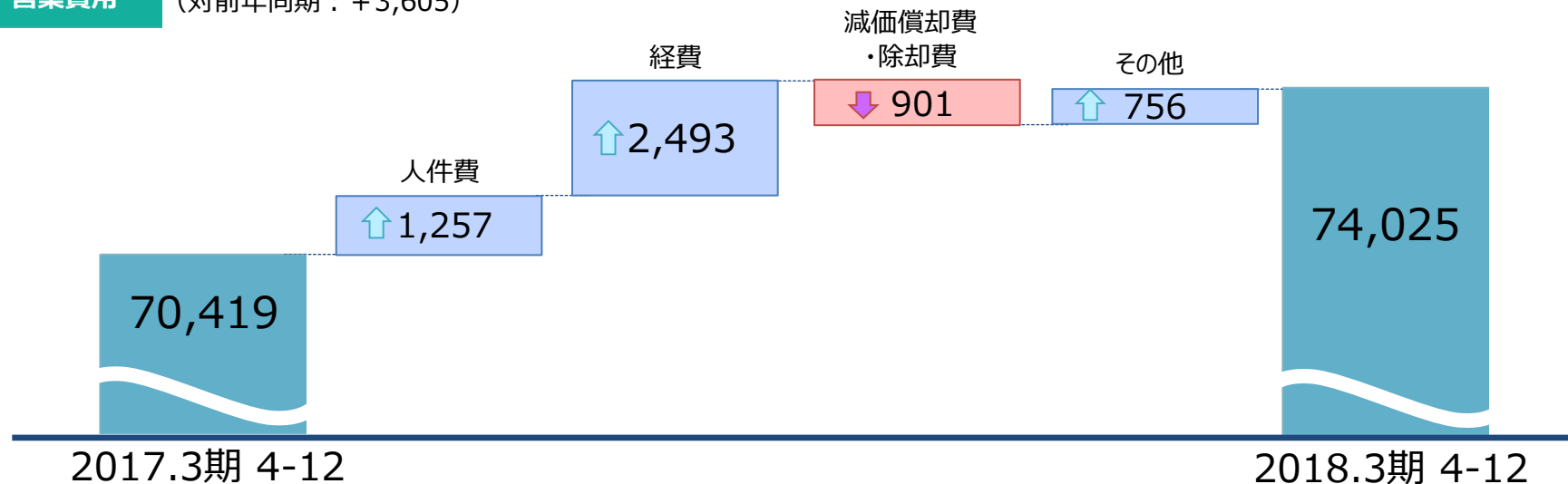
営業収益

(対前年同期 : +3,615)



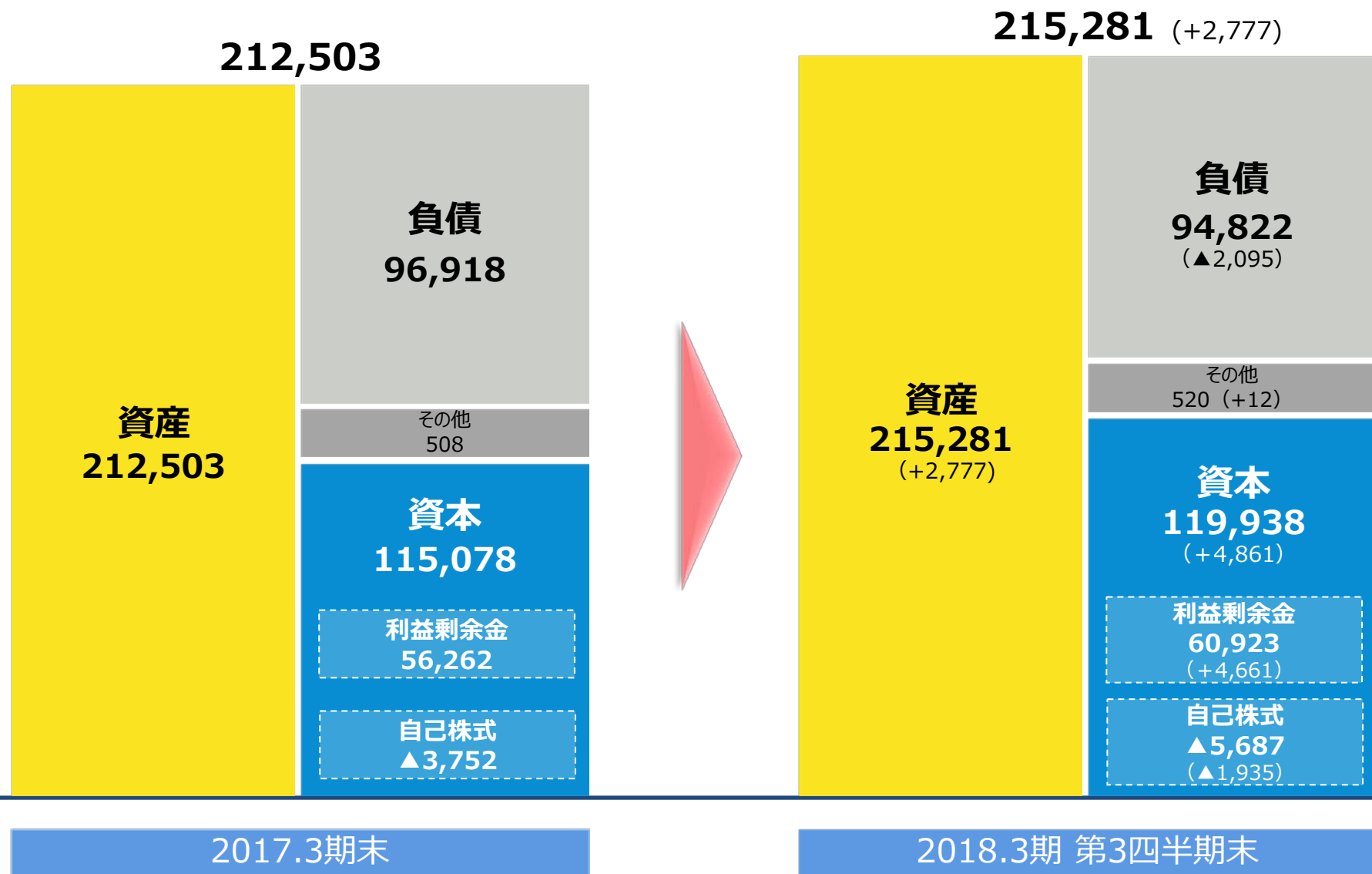
営業費用

(対前年同期 : +3,605)



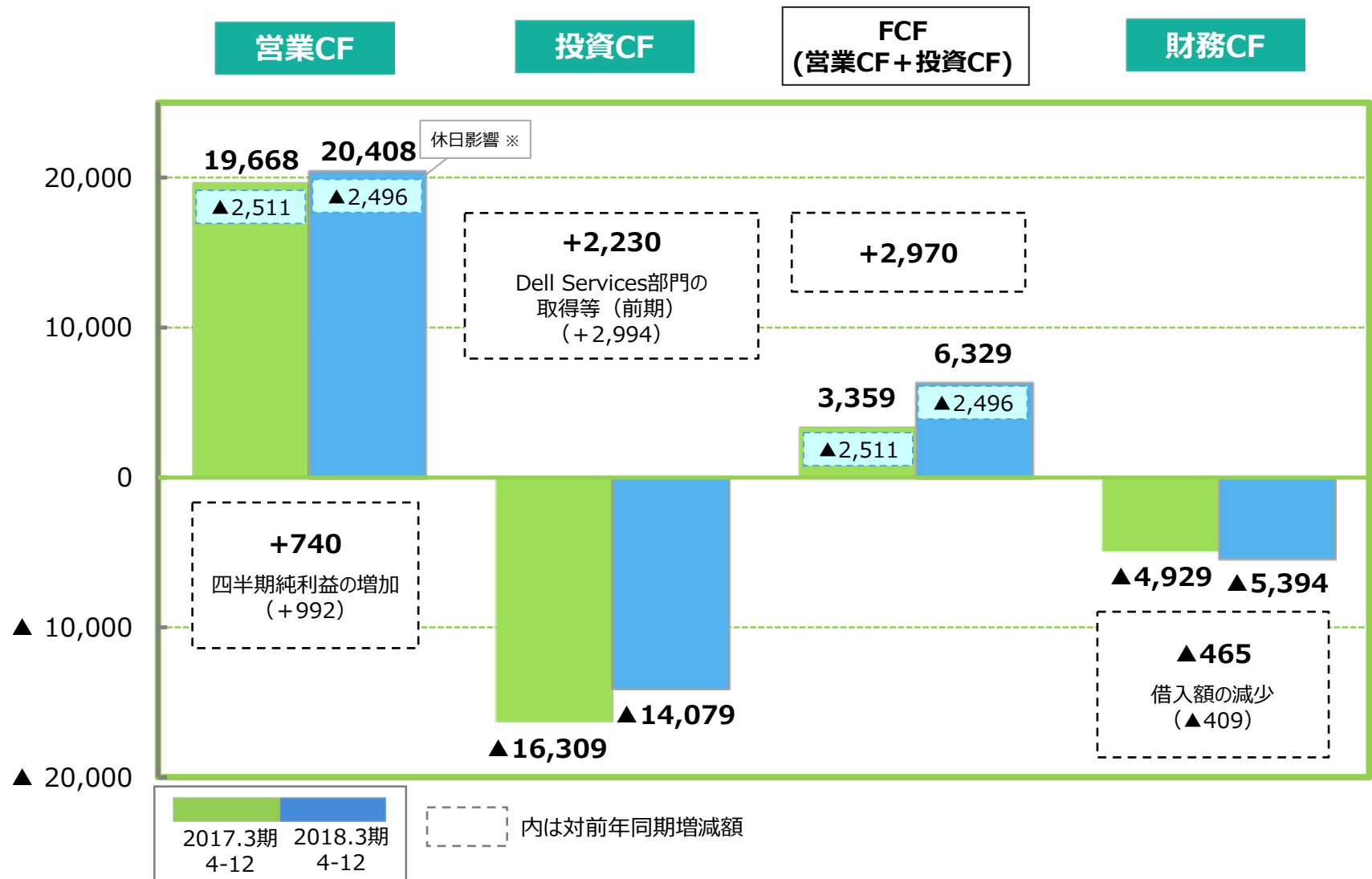
連結貸借対照表の状況

(単位: 億円)



連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

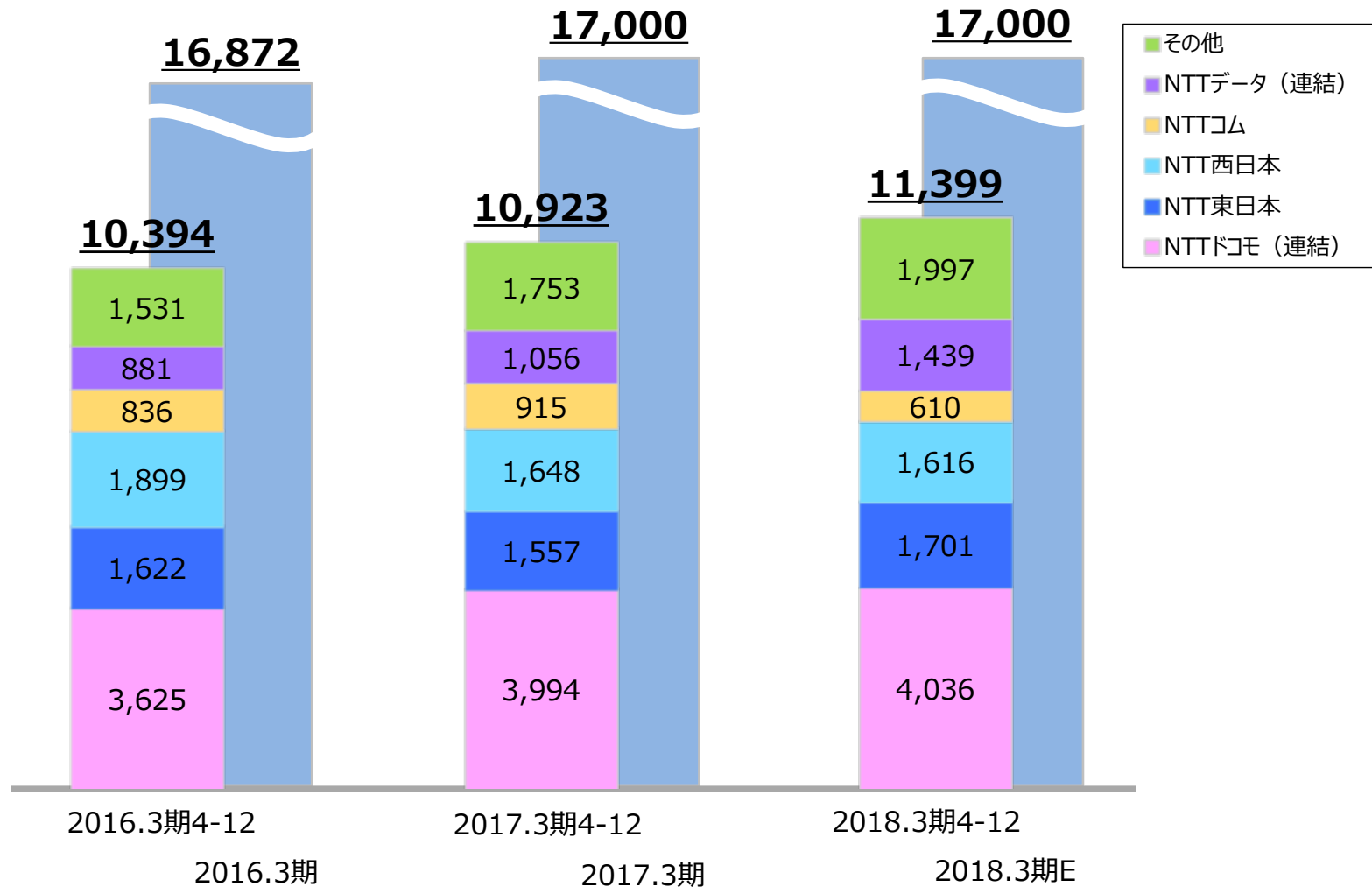


※ 前第3四半期末日及び当第3四半期末日が休日だったことから、売掛金の支払期限が月末から翌月初に後倒しとなった影響。前第3四半期及び当第3四半期における休日影響を含んだ営業CFはそれぞれ17,158億円、17,912億円、FCFはそれぞれ849億円、3,833億円。

設備投資額の状況

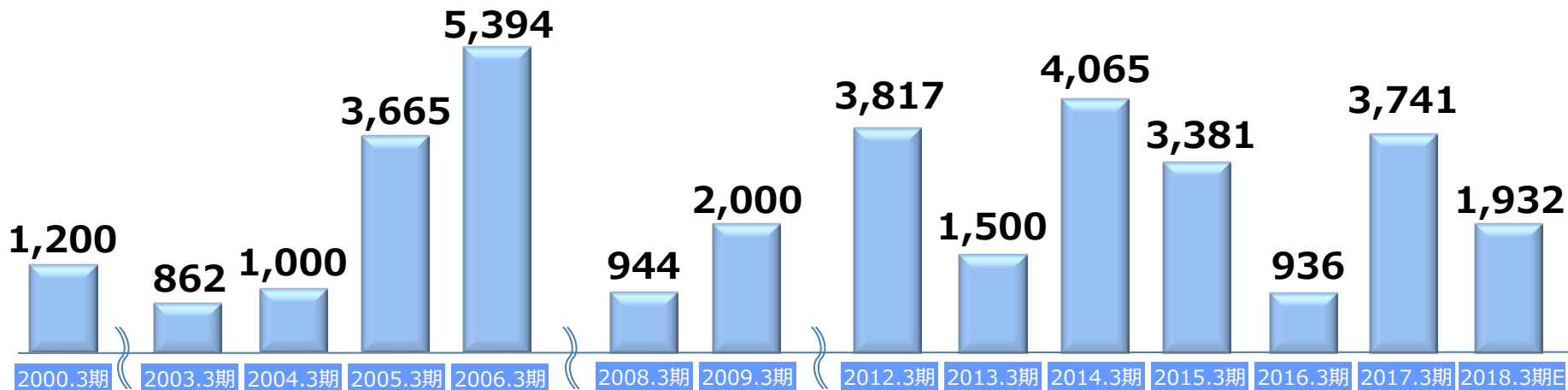
(単位: 億円)

設備投資



自己株式取得

(億円)



1株当たり配当額

—●— 配当性向

(円)

(注) 配当は、2015.7.1を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整しております。

